

Ⅱ 「安心」への取組

(1) 食品表示の適正化

実施する取組	担当課室	平成29年度取組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
① 「食品表示推進者育成講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品表示推進者を育成します。	食品・生活衛生課	食品表示推進者育成講習会を6回開催し、食品関係事業者366名の受講があった。	概ね達成
2 食品・生活衛生課及び各県立保健所に食品表示相談窓口を設置し、事業者等からの相談に対応します。	食品・生活衛生課	食品・生活衛生課及び各県立保健所(支所)に、相談窓口を設置するとともに、関係課室と連携の上、相談対応を行った。平成29年度の相談件数は、県全体で751件であり、前年度に比べ96件減であった。	(達成)
3 食品制度に関するパンフレットなどを作成し、正しい知識の普及啓発を行います。	食品・生活衛生課	「知っておきたい食品表示」パンフレットをイベント等や講習会で配布した。また、9月の食品表示基準の改正に伴い、パンフレットを改訂した。	(達成)
④ 食品関係事業者(加工・製造者)の監視指導時に、食品表示についても点検・指導を行います。	食品・生活衛生課	食品等事業者(加工・製造者)の監視指導時において、食品の表示を確認し、必要な場合に改善等の指導を行った。	達成
⑤ 「食品表示ウォッチャー」を設置し、食品の表示状況を消費者の視点から監視します。	食品・生活衛生課	29名のウォッチャーを設置し、年間で580店舗、4442回モニタリングを行った。随時報告が18件あり、うち13件は疑義情報として受理し、店舗に指導等をおこなった。	未達成
6 「食品表示110番制度」を運営し、県民等からの疑問や相談に対応するとともに、適正表示を推進します。	食品・生活衛生課	食品表示に関する疑問・相談に対し、表示制度等を分かり易く説明した。また、不適正な表示が疑われる情報等は、必要に応じて事業者に調査等を実施、適正表示の徹底を指導した。	(達成)
7 関係機関と連携し、県内食品関係事業者への食品表示法等関連法規の周知及び巡回調査、適正表示の指導等を行います。	食品・生活衛生課	市町村や近畿農政局と連携し、食品表示関連法規の周知や巡回調査、適正表示の指導等を行った。29年度は48件あり、食の安全・安心わかやまホームページで公表した。	(達成)
8 医薬品医療機器等法に違反する食品表示がないように、パンフレットやインターネットなどの広告について監視指導を行います。	業務課	年度中に計4件の相談を受け、医薬品医療機器等法に抵触する表現については改善指導した。	(達成)
9 広告指導の指導事例を共有化することで、相談・監視体制を強化します。	業務課	広告監視指導に関する担当者会議を1回開催し、広告監視事例について情報を共有した。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	31年度	平成30年度取組み予定
①	講習会の受講者数(累計)	目標値	—	3,200人	引き続き、食品表示推進者育成講習会を昨年と同規模で実施する予定。
		実績値	3,086人		
2	迅速な相談対応	目標値			引き続き、事業者からの相談に迅速に対応していく。
		実績値			
3	県民が参加するイベント等での啓発	目標値			「知っておきたい食品表示」パンフレットをイベント等や講習会で配布し、啓発を行う。
		実績値			
④	監視指導時の食品表示についての点検・指導割合	目標値	—	100%	引き続き、表示確認、指導を行う。
		実績値	100%		
⑤	モニタリングの回数	目標値	—	6,500回/年	引き続きウォッチャーを設置し、モニタリングを行う予定である。
		実績値	4,442回/年		
6	迅速かつ適切な対応	目標値			引き続き、対応していく。
		実績値			
7	調査件数の公表	目標値			今年度も同様に県内事業者への食品表示関連法規の周知及び巡回調査等を行う。
		実績値			
8	迅速な改善指導	目標値			引き続き、パンフレットやインターネットなどの広告について監視指導を行う。
		実績値			
9	広告監視担当者会議における情報共有	目標値			引き続き、担当者会議にて広告監視事例を共有し、相談・監視体制の強化を図る。
		実績値			

(2) 人の健康に役立つ食品表示の推進

実施する取組	担当課室	平成29年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑩ 「わかやま健康食品製造業者連絡協議会」の研修を開催し、健康食品の表示に対する事業者の意識を高めます。	食品・生活衛生課	健康食品による危害の未然防止、表示広告及び販売方法の適正化を目的として研修会を開催した。食品表示法の対応状況、誤表示防止の取組事例など、コンプライアンスのために取り組むべきポイントの説明を行った。	達成
⑪ 企業ニーズに基づき、表示対象となる食品の機能性成分の分析方法を拡充します。	工業技術センター	7月に有機酸分析装置で梅酢加工品のクエン酸分析を実施した。9月にはHPLCにより柑橘のナレルチン分析を行った。10月には梅加工品のウメフラールやクエン酸を分析した。	未達成

目標管理項目		29年度	30年度	31年度	平成30年度取り組み予定
⑩ アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	—	90%以上	引き続き健康食品による危害の未然防止、表示広告及び販売方法の適正化のために研修会を開催する。
	実績値	100%			
⑪ 受託試験件数	目標値			6件	本年も引き続き果実などの機能性成分や食品の旨み成分であるグルタミン酸、イノシン酸の分析を実施する。
	実績値	4件			

(3) コンプライアンスの向上

実施する取組	担当課室	平成29年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑫ 「食品表示に係るコンプライアンス講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品事業者を育成します。	食品・生活衛生課	「食品表示に関するコンプライアンス講習会」を開催し、食品関係事業者86名が受講した。	概ね達成
13 廃棄食品の不正流通防止のため産業廃棄物処理業者等への立入り検査を行います。	循環型社会推進課	食料品製造業等から排出される動植物性残さに係る産業廃棄物処分業者6社を立入検査し、廃棄物の処理や保管、委託契約等の状況について確認・指導した。また、食品関係の排出事業者2社を立入検査し、廃棄物の排出状況や委託状況など適正処理を確認・指導した。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	31年度	平成30年度取り組み予定
⑫ 講習会の受講者数(累計)	目標値	—	—	850人	昨年に引き続き、講習会の開催を検討する。
	実績値	841人			
13 適正処理の啓発・指導の強化	目標値				産業廃棄物処分業者等に対する立入検査を行い、廃棄物の適正処理を確認・指導し、廃棄食品の不正な流通を防止する。
	実績値				

(4) 生産から販売までの食品情報を公開するしくみ (トレーサビリティシステム)の導入と普及

実施する取組	担当課室	平成29年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑭ 米穀事業者に対して、取引の記録や産地情報の伝達を啓発します。	果樹園芸課	国から疑義情報の回付のあった事業者に対し、事業者の法に基づく責務の説明・指導を行った。	達成
⑮ 牛トレーサビリティ制度に基づき、耳標の適正な管理を指導します。	畜産課	トレーサビリティ制度について、関係機関と連絡調整・意見交換を実施すると共に、牛飼養農家57戸に対して耳標の適正な管理を指導した。	達成
⑯ 商品に関する情報や企業姿勢が正しく消費者に伝わるための取組を食品関係事業者等に啓発します。	食品流通課	HACCP導入支援のための「新食品流通基準対応セミナー」や、商談会に出店する事業者向けの「百貨店バイヤーが求める商品情報セミナー」を開催し、安全安心のモノづくりや、お客様とのコミュニケーションの取り方を研修した。	未達成

目標管理項目		29年度	30年度	31年度	平成30年度取り組み予定
⑭ 地域米穀事業者の違反件数	目標値	—	—	0件	今年度も引き続き、国から疑義情報の回付のあった事業者に対し、事業者の法に基づく責務の説明・指導を行う。
	実績値	0件			
⑮ 県内牛飼養農家の指導割合	目標値	—	—	100%	平成30年度も引き続き、耳標の適正な管理を指導する。
	実績値	100%			
⑯ 研修会等の参加企業数	目標値	—	—	40社	HACCP導入を検討している事業者向けに「新食品流通基準対応セミナー」を開催して危害分析の実施やHACCPプラン作成などのグループワークを行う。商談会に出店する事業者向けには、バイヤーや消費者とのコミュニケーションの取り方を研修するセミナーを開催する予定。
	実績値	31社			

(5) 食に関する情報交換の推進

実施する取組	担当課室	平成29年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑰ 「食の安全推進会議」を活用し、県組織を横断した食の安全・安心施策を推進します。	食品・生活衛生課	6月に関係課室へ第5次アクションプランの平成28年度実施結果の報告を行った。	達成
⑱ 「食品衛生管理指導計画」の策定前に県民のご意見を募集し、計画に反映させます。	食品・生活衛生課	平成30年度食品衛生監視指導計画(素案)についてパブリックコメントを実施し、広く意見を求めた。	達成
⑲ 「食の安全県民会議」を開催します。	食品・生活衛生課	7月、2月に会議を開催し、食品衛生監視指導計画等について協議を行った。	未達成
⑳ 「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣し、食の安全・安心に関する取組を紹介し、理解を深めて頂くとともに、ご意見を頂きます。	食品・生活衛生課	「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣、県民を対象に研修会を開催し、食品表示について説明した。	達成
㉑ 食の安全・安心ホームページ「食の安全・安心わかやま」から、情報の発信と質問の受付を行います。	食品・生活衛生課	講習会やイベントの開催案内、食品の検査結果など、35回の更新を行った。	未達成
㉒ 食品に関する情報を消費者や事業者、県が共有し、それぞれの立場で食の安全・安心を確保するための取組を進めることに役立てていくため、「食の安全・安心メールマガジン」による情報発信を行います。	食品・生活衛生課	月に1回の定期配信に加え、食中毒注意報など、6回の号外を配信した。また、食育イベントで、メールマガジン登録キャンペーンを行った。	未達成
㉓ 「食の安全シンポジウム」を開催し、消費者をはじめ、食に携わる方々がみんなで考える場を設けます。	食品・生活衛生課	平成30年3月に田辺市で「知ろう、学ぼう、食物アレルギー」をテーマに開催し、参加者は95名であった。	概ね達成
㉔ 県内各地で「食の安全タウンミーティング」を開催し、「食」に関する情報提供や、ご意見をいただく場を設けます。	食品・生活衛生課	平成30年3月「知っておきたい食品表示」をテーマに開催し、26名の出席があった。	概ね達成
㉕ 食品関係事業者との協働により、県民の食の安全・安心に関する知識や理解を深めるためのリスクコミュニケーション等の取組を推進します。	食品・生活衛生課	・「夏休み食の安全親子教室～食品工場へ行ってみよう～」 ・食の安全タウンミーティング「知っておきたい食品表示」 ・食の安全シンポジウム「知ろう、学ぼう、食物アレルギー」	未達成
㉖ 食の安全サポーターを募集し、食の安全に関する情報交換を行います。	食品・生活衛生課	食品表示改正や啓発資料等の送付により情報提供を行った。	未達成
27 安全・安心な「和歌山県産」ブランドの構築に取り組みます。	食品流通課	商談会やイベント、和歌山県産品のPRの機会に、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに、安全で安心、おいしい、機能性に富んでいる和歌山県産ブランドの広報活動を展開。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	31年度	平成30年度取り組み予定
⑰	アクションプラン取組の達成割合	目標値	—	95%	必要に応じて「食の安全推進会議」を開催し、県組織を横断した食の安全・安心施策を推進する
		実績値	78%		
⑱	意見募集回数	目標値	—	1回	今年度においてもパブリックコメントを実施予定。
		実績値	1回		
⑲	県民会議の開催回数	目標値	—	3回	引き続き、食の安全・安心に係る県民の意見を県政に取り入れるべく、テーマを決め協議を行う。
		実績値	2回		
⑳	アンケートで「有意義であった」として回答した人の割合	目標値	—	90%以上	「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣。食の安全・安心に対する取組について消費者の理解を深める。
		実績値	100.0%		
㉑	ホームページアクセス件数	目標値	—	8,000件	引き続き、必要があれば更新を行い、県民への情報提供を行う。
		実績値	6,013件		
㉒	メールマガジン購読登録者数(累計)	目標値	—	800件	引き続き、定期配信するとともに、必要に応じて号外を配信する。
		実績値	356件		
㉓	アンケートで「有意義であった」として回答した人の割合	目標値	—	90%以上	今年度も「食の安全シンポジウム」を開催する。
		実績値	88%		

⑭	アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	—	90%以上	今年もテーマを検討して開催を予定。
		実績値	79%	—		
⑮	実施取組数	目標値	—	—	100取組	工場見学の受入情報を掲載し、HPで紹介するとともに、年2回を目途に工場見学及び研修会を開催する。
		実績値	8取組			
⑯	情報交換の回数	目標値	—	—	7回	食の安全サポーター募集とともに、テーマを検討し、情報提供を実施していく。
		実績値	3回			
27	商談会やイベントにおけるPR	目標値				商談会やイベント、和歌山県産品のPRの機会に、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに、安全で安心、おいしい、機能性に富んでいる和歌山県産ブランドの広報活動を展開する予定。
		実績値				

(6) 認証制度の充実

実施する取組	担当課室	平成29年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑳ 「ふるさと認証食品認証制度」により、安心できる特産加工食品を認証します。	農業環境・鳥獣害対策室	1品目、138食品を認証(新規:6食品、更新132食品)。 認証品目数(累計)は5品目、認証食品数は259食品。 ①梅干し・調味梅干し:233食品、②味付けぼん酢:3食品、③だいきんの漬物:5食品、④果実ジュース:16食品、⑤黒大豆・黒豆煮:2食品	達成
29 ふるさと認証食品認証制度の概要と認証食品等をホームページで公表します。	農業環境・鳥獣害対策室	制度概要、認証食品、認証食品を製造する者を年度内に取りまとめ、新年度早々に県ホームページにて公表できる体制にしている。	(達成)
30 安全・安心を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」優れた県産品を推奨認定します。	企業振興課	認定申請のあった県産品について、食品表示法、薬機法等の食の安全・安心に関する法令審査を実施。法令違反や不適切な表示等があった場合は、是正させた上で認定を行った。新規105商品、更新92商品を認定した。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	31年度	平成30年度取り組み予定	
⑳	認証品目数(累計)	目標値	—	—	5品目	引き続き5品目に対し、認証基準に適合する特産品を認証する。
	実績値	5品目				
29	迅速な公表	目標値				今後も迅速に情報を公表し、制度の周知を図る。
		実績値				
30	安全・安心な県産品の認定	目標値				認定申請のあった県産品について、食品表示法、薬機法等の食の安全・安心に関する法令審査を実施する。法令違反や不適切な表示等があった場合は、是正させた上で認定を行う。
		実績値				

(7) 環境にやさしい食品づくり

実施する取組	担当課室	平成29年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
① 化学肥料と化学合成農薬を使用しない、または県慣行使用量の半分に以下に減らして栽培された農産物の生産拡大を推進します。	農業環境・鳥獣害対策室	県内7か所に「エコ農業実証モデル園」を設置し、先進的な栽培手法等の展示を実施するとともに、モデル園3か所で生産者・JA等を対象にした現地研修会を開催した。また、県内全域の農業者等を対象に「県エコ農業研修会」を開催し(出席者:50人)、環境保全型農業を取り巻く状況について理解を深めた。	達成
② 土づくりや化学肥料・化学合成農薬の使用の削減に取り組む「エコファーマー」の新規認定数を拡大します。	農業環境・鳥獣害対策室	県内7か所に「エコ農業実証モデル園」を設置し、先進的な栽培手法等の展示を実施するとともに、モデル園3か所で生産者・JA等を対象にした現地研修会を開催した。また、県内全域の農業者等を対象に「県エコ農業研修会」を開催し(出席者:50人)、環境保全型農業を取り巻く状況について理解を深めた。	未達成
③ 環境保全型農業の実践程度を把握するための指標及び評価手法を開発します。	農業試験場	イチゴのIPM(総合的病害虫管理)実践指標を作成した。	概ね達成
④ IPM防除の実践や環境保全型農業の推進に関する技術研修を行います。	果樹試験場	IPM防除の実践について、ミカンの黒点病やかいよう病の防除を中心として、女性農業者に対する技術研修を実施し、みかんとふれあいデーで主要害虫及び病害のIPM防除について農業者に研修を行った。	概ね達成
⑤ 養殖漁場における環境モニタリング調査を実施します。	水産試験場	平成29年5月16日および平成29年9月27日に、養殖漁場の環境指標となる水質、底質、底棲生物等を7地点で調査した。	達成
36 漁場改善計画に則した養殖漁場の改善に努めます。	資源管理課	漁場改善計画を立てた漁場については計画に沿った適切な管理が行われた。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	31年度	平成30年度取り組み予定
① 認証取組面積(累計)	目標値	—	—	270ha	今後も、エコ農業実証モデル園を設置して技術展示を継続する。また、モデル園での現地研修会やエコ農業研修会等において認証制度の周知を図る。
	実績値	275ha			
② エコファーマー新規認定数	目標値	—	—	30件	今後も、エコ農業実証モデル園を設置して技術展示を継続する。また、モデル園での現地研修会やエコ農業研修会等においてエコファーマー制度の周知を行い、新規認定者の確保を図る。
	実績値	19件			
③ 総合的病害虫・雑草管理実践指標	目標値	—	—	13作物	継続して1年に1作物のIPM実践指標を作成する。平成30年度はエンドウ(露地栽培)。
	実績値	12作物			
④ 研修会の参加人数	目標値	—	—	140人	今年度も引き続き、IPM防除の実践や環境保全型農業の推進に関する技術研修を行う予定である。
	実績値	131人			
⑤ 調査実施地点数	目標値	—	—	7地点	今後も引き続き、養殖漁場の環境指標となる水質、底質、底棲生物等を7地点で調査する。
	実績値	7地点			
36 漁場改善計画の履行確認	目標値				本年度も計画に沿った適切な管理が行われるよう取り組んでいく。
	実績値				